

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年5月12日

【会社名】 株式会社ディー・エヌ・エー

【英訳名】 DeNA Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 兼 CEO 守安 功

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目21番1号

【電話番号】 03 - 6758 - 7200 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 兼 執行役員経営企画本部長 小林 賢治

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区渋谷二丁目21番1号

【電話番号】 03 - 6758 - 7200 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 兼 執行役員経営企画本部長 小林 賢治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社の経営成績に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものです。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成27年5月12日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は、平成27年3月期通期の当社単体決算において、次のとおり、海外子会社に関する子会社株式評価損を計上しましたが、当社連結決算（国際会計基準）では、減損損失を認識しませんでした。

海外子会社に関する子会社株式評価損の内容

DeNA Global, Inc.（米国ソーシャルメディア事業にかかる持株会社）等海外子会社の業績や収益性に鑑み、回復可能性を慎重に検討した結果、平成27年3月期通期の当社単体決算において合計551億円を子会社株式評価損として計上しました。

当社連結決算における減損損失の不認識とその理由

当社連結決算（国際会計基準）では、以下の理由により平成27年3月期通期連結決算において当該子会社取得時にかかるのれんに関する減損損失を認識しませんでした。

当社では、ソーシャルメディア事業（ゲーム事業を含む）については、展開地域を跨いだ事業全体を単一の資金生成単位としております。当期において、当該資金生成単位に含まれる資産簿価に対して、回収可能価額との比較を行いました結果、ソーシャルメディア事業全体の見積もり公正価値が帳簿価額を上回ったため、上記の子会社株式評価損の計上に関わらず、連結決算では減損損失を認識しておりません。

(3) 当該事象の損益に与える影響

当該事象により、平成27年3月期通期の当社単体決算において、減損損失551億円を特別損失に計上いたしました。なお、平成27年3月期通期の当社連結決算（国際会計基準）に与える影響はありません。